

【教職員の人権感覚向上シート】

- ① シートを使って、あなた自身やあなたの身の周りを振り返ってみましょう。
- ② 振り返ってみて気づいたこと、感じたことをグループで交流してみましょう。
(※振り返りのきっかけになるような一例をあげています。この内容がすべてではありません。)

1. 子どもも同じ一人の人間として尊重できていますか？

- 職員室に子どもを呼び出し、子どもを長時間立たせたままで話をすることがある。
- 掃除や給食配膳などは、「子どもにさせておけばよい」といった意識がある。
- 指導したとおりに子どもが行動しないとき、感情的に指導することがある。
- みんなの前で、大声で叱責することがある。

2. 一人ひとりの子どもを大切にした授業が行えていますか？

- 「前から何番目の人」などと指名し、名前を呼ばないで授業をすることがある。
- 寝ていたり、授業を聞いていなかったりする子どもを放っておいて授業を進めることがある。
- 授業のめあてや流れを示さず、子どもが見通しをもてないまま授業を進めることがある。
- ゆっくり考えるタイプの子どもの置き去りにした授業をしていることがある。

3. 学校の生活環境で、子どもが尊重されていますか？

- 子どもに対する言動で気になることがあっても受け流してしまうことがある。
- あだ名や人が傷つく言葉、プライバシーにかかわる落書きを放置していることがある。
- 欠席者の机が、なおざりになっても気にならない。
- 子どもの作品などが、壊れたままになってもそのままにしていることがある。
- 子どもの提出物を長期間手元に置いたままにしていることがある。

4. 子どもの意見や保護者の思いを受け止められていますか？

- 子どもや保護者の訴え(言い分)を真摯に聞こうとしないことがある。
- 宿題忘れや未提出物の理由を、単に「本人のだらしなさ」としていることがある。
- 子どもの背景を考えず、行動面だけを見て叱る指導をしていることがある。
- うまくいかないことを、子どもや保護者のせいになっていることがある。
- 子どもが話しかけてきても「後で」と言って、そのままにしていることがある。

5. 「よくない見本」にすることで子どもを傷つけていませんか？

- 失敗などを、みんなの前で馬鹿にするような発言をすることがある。
- 「また君か。」など、決めつけた見方での発言をすることがある。
- 他者と比較して、子どもをおとしめる発言をすることがある。

6. 子どもによって態度が違ったり、子どもを否定したりする発言をしていませんか？

- 呼び方や態度など、子どもによって扱い方に差があることがある。
- 子どもの容姿や体型に関する不適切な発言をしていることがある。
- 子どもの性格や特性を否定する発言をしていることがある。(不器用・鈍感など)
- 子どもの可能性や努力を無視した発言をしていることがある。(「君には無理」など)

7. 子どものプライバシーに配慮ができていますか？

- デリケートな話(進路・体調・家庭事情・友人関係等)を周囲に聞こえる状況で行っていることがある。
- 職員室や教卓に、子どもの個人情報を他人に見える状態で置いていることがある。

8. 教職員間の連携はとれていますか？

- 職員間で子どもについての共通理解ができていない。
- 良くない点を職員同士が互いに指摘し合える人間関係になっていない。
- 職員室での教職員同士の会話が、子どもの悪い面のやりとりばかりになっている。
- 他教室(他教科)の授業の様子を気軽に見に行ける雰囲気になっていない。

9. 教職員中心の学校・学級経営になっていませんか？

- 管理がしやすいという理由だけで、一律な指導が行われている。
- 立たせる、グラウンドを走らせるなどの罰則がある。
- 急な依頼や変更をしても、子どもや保護者は従って当然だという意識がある。

気づいたこと、感じたこと